

会長挨拶

この度の新型コロナウイルス（covid-19）感染の影響を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

第37回日本視機能看護学会学術総会開催が沖縄に決まりましたのは2年前のことです。私たちは学会実行委員会を立ち上げ、全国からご参加される皆様におもてなしの心で、楽しく、豊かな知識・情報が取得できますように、そして沖縄の文化にも触れて交流が深まりますようにと、思いを馳せておりました。しかし、その直後には、思いもよらぬ首里城の全焼、さらに翌年には世界的なパンデミックと宣言された新型コロナウイルスの留まるところのない流行で、学会開催は危ぶまれました。当学会の実行委員会では日々話し合った結果、新型コロナウイルスのさらなる感染拡大防止の観点から、皆様の安全を第一に考え、沖縄でのご参集ができなくとも Web での学会開催に決定しました。

Web 開催期間は、10月1日（金）～10月7日（木）の7日間を予定しております。

本会のテーマは、「絆～つなぐ・つなげる眼科看護へ～」です。こうしたコロナ禍において私たちは、医療者との連携、そして患者さん、その家族、地域との連携を深めていくことの重要性を痛感しました。沖縄県は、39の有人島を抱え広範囲に散在しております。その医療提供体制は、必ずしも十分とは言えない状況にあるなか、地域医療の重要性、多職種との連携は必要不可欠です。そこで、眼科地域医療の取り組みや治療、with コロナとしての眼科看護を見直して参りたいと思います。

特別講演では、古泉英貴先生（琉球大学眼科学教授）をお迎えして「沖縄での地域医療・眼科医療」に関する内容でご講演を頂く予定です。

教育講演では、栗生田友子先生（埼玉医大看護学教授）による「看護研究の進め方・論文の書き方」などについてご講演を頂く予定です。又、シンポジウムⅠのテーマ「眼科における新型コロナウイルスの現状と対応のあり方」では、現場で活躍されている先生方よりアフターコロナでの貴重な役立つ内容をご講演予定としております。シンポジウムⅡのテーマ「離島での求められる眼科看護」では、離島での眼科看護の現状、これから患者様が必要とされている眼科看護とは何かについて、問題点を見出し、検討できればと考えております。

プログラムでは、特別講演、教育講演、シンポジウム、一般口演、ポスターセッション、共催セミナーなど皆様が興味を抱いている内容を企画しております。

現在、新型コロナウイルス感染拡大にて様々な学会のあり方が変化しております。日本視機能看護学会学術総会におきましても初めての Web 開催となります。Web 開催の利点を活かし、「気付き」から「学び」につながる学会作りに努めたいと思います。また、ご自分の視聴可能な時間にぜひ、学会というものを体験してほしいと思います。

今回、学会を開催するにあたり、人と人とのつながりの重要性を再認識いたしました。学会に、参加される方、その運営に当たる方、それを支えていただいている方、たくさんの皆様の熱い思い「絆」が集結して開催されますので、このようなコロナ禍においてこそ、学会のあり方を考え、創意工夫を取り入れております。ご支援いただきました皆様に深く感謝申し上げます。

沖縄県から全国へ有意義な学会をお届けできるよう、スタッフ一同、精一杯準備を進めております。また、視機能に関心をお持ちの皆様には、是非、学会登録を頂けますように、関係者一同、誠心誠意尽力してまいります。Web にて各地域より皆様のご参加を心よりお待ちしております。

第37回日本視機能看護学会学術総会

会長 関 次郎

(医療法人こうぶん会 比嘉眼科)

主管責任者 比嘉 明

(医療法人こうぶん会 比嘉眼科)

日本眼科看護研究会、日本視機能看護学会学術総会 開催一覧

回数	開催日	担当施設	担当会長名	会場
第1回	1985年7月7日	臨床眼科研究所	立川 綾子	臨床眼科研究所
第2回	1986年7月20日	臨床眼科研究所	立川 綾子	臨床眼科研究所
第3回	1987年7月5日	順天堂大学病院	立川 綾子	有山記念講堂
第4回	1988年7月10日	昭和大学病院	大音 清香	昭和大学臨床講堂
第5回	1989年7月9日	昭和大学病院	大音 清香	昭和大学臨床講堂
第6回	1990年7月15日	神戸海星病院	野村 良一	西山記念会館
第7回	1991年7月13日	福岡大学病院	野田久美子	福岡市電気ホール
第8回	1992年7月11日・12日	今泉西病院	斎藤 敬子	郡山ユラックス熱海
第9回	1993年7月10日・11日	幸塚眼科	大野 勝子	松山市総合コミュニティセンター
第10回	1994年7月9日・10日	昭和大学病院	大音 清香	昭和大学上條講堂
第11回	1995年7月15日・16日	江口眼科病院	中尾てる子	函館市民会館
第12回	1996年7月13日・14日	眼科杉田病院	前田 孝子	名古屋国際会議場
第13回	1997年7月12日・13日	木村眼科内科病院	森岡あゆみ	呉市文化ホール
第14回	1998年7月18日・19日	熊本眼科医院	山崎 淳	熊本テルサ
第15回	1999年6月12日・13日	比嘉眼科病院	与座 和子	那覇市民会館
第16回	2000年7月22日・23日	谷藤眼科病院	篠村 善幸	盛岡グランドホテル
第17回	2001年7月14日・15日	西眼科病院	杉本 栄	大阪国際会議場
第18回	2002年7月13日・14日	小沢眼科内科病院	児玉 久子	ホテルレイクビュー水戸
第19回	2003年7月12日・13日	誠心眼科病院	金子 栄子	札幌後楽園ホテル
第20回	2004年7月10日・11日	海谷眼科	大島 優美	グランドホテル浜松
第21回	2005年6月18日・19日	京都府立医科大学病院	古瀬 佳代	国立京都国際会館
第22回	2006年10月28日・29日	山口大学病院	山本 恵子	山口市民会館
第23回	2007年6月30日・7月1日	南松山病院	兵頭 涼子	愛媛県県民文化会館
第24回	2008年9月19日・20日・21日	西葛西・井上眼科病院	大音 清香	TFT ホール
第25回	2009年6月13日・14日	林眼科病院	岩下 久子	アクロス福岡
第26回	2010年9月11日・12日	今泉眼科病院	和泉 幸子	裏磐梯ロイヤルホテル
第27回	2011年9月10日・11日	宮田眼科病院	竹之下美世子	シーガイアコンベンションセンター
第28回	2012年6月2日・3日	多根記念眼科病院	森本 民子	大阪国際会議場
第29回	2013年9月14日・15日	真生会富山病院	加藤 礼	富山国際会議場
第30回	2014年9月6日・7日	眼科三宅病院	上村 博子	愛媛県産業労働センター
第31回	2015年10月3日・4日	出田眼科病院	村上ルミ子	市民会館崇城大学ホール
第32回	2016年10月1日・2日	井上眼科病院	大音 清香	ソラシティカンファレンスセンター
第33回	2017年8月26日・27日	原眼科病院	高山 友子	栃木県総合文化センター
第34回	2018年11月17日・18日	オリンピック眼科病院	横須賀美紀	六本木アカデミーヒルズ
第35回	2019年11月3日・4日	木村眼科内科病院	石川 美幸	広島コンベンションホール
第36回	新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点より開催の中止			
第37回	2021年10月1日～7日	比嘉眼科	関 次郎	Web開催

発表についてのご案内

1. 発表時間

- 一般口演：1演題につき7分
- ポスター講演：ポスター掲示のみ

2. スライド作成における注意事項

スライドは参加者が容易に理解できるよう眼科学の知識に基づいて作成してください。

1. 字詰まりスライドを避ける

字詰まりスライドは、低視力者はもちろん、正常視力者にとっても判読がたいへん困難です。

2. スライド掲示時間への配慮

スライドに掲示されている内容を把握するのに十分な掲示時間を確保できるスライド枚数としてください。

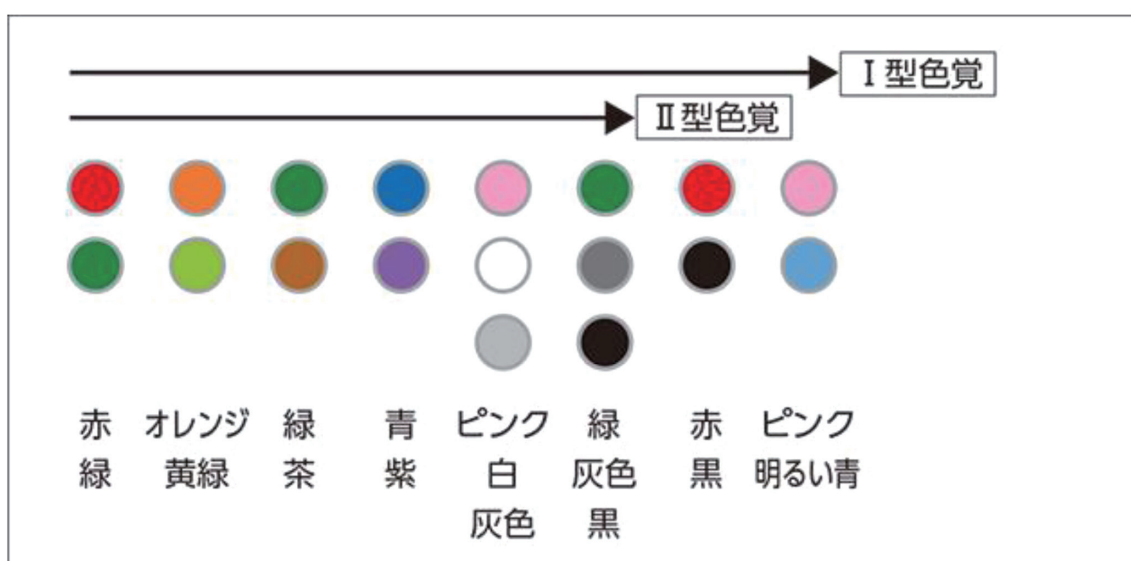
3. 使用する色の数並びに混合色への配慮

1) 一枚のスライドに多数の色を使用することを避けてください。背景色と文字とのコントラストが十分にあるもの（ブルーまたは黒の背景に白色または黄色文字など）にしてください。ブルーまたは黒の背景に赤色の文字は見えにくくなります。

2) 以下の配色は混同色として識別が難しいので同一スライド内で使用しないようにしてください。

4. PowerPointによる文字（フォント）は文字化け、レイアウトの誤差が生じる場合がある為、基本下記のフォントをお勧めいたします。（MS ゴシック、MSP ゴシック、MS 明朝、MSP 明朝）

混同しやすい配色



3. 利益相反について

発表演題につきましては、「日本眼科学会における公表の基準細則」に準じて＜利益相反公表基準の有無＞
ならびに「有」の場合には、該当する演者名（共著者含む）と企業名を、講演時の1枚目スライドに、下
記のように公表してください。

演者全員が利益相反公表基準に該当しない場合

【利益相反】該当なし

該当ありの場合には

【利益相反】あり ・ 筆頭演者：〇〇製薬 ・ 共同演者：〇〇工業

4. 一般口演・ポスター作成要領

- 1) 本学術総会でのご発表は、オンデマンド配信のため発表データは事前提出といたします。
(一般口演：音声有、ポスター発表：ポスター掲示のみ)
- 2) データ提出につきまして
 - データ提出時のファイル名は、抄録集掲載の「演題番号」と「ご氏名」をお付けください。
(例) 1-1 沖縄 太郎
 - ファイル形式：Microsoft Power Point（音声付）データまたは、MP 4 データにてご提出ください。
 - スライド枚数：作成時は、必ず利益相反（COI）の表記をお願いいたします。
(一般口演) 発表内容によって一任いたします。
(ポスター発表) 10 枚～15 枚程度。
 - 提出ファイル容量：特に限りはありません。
 - スライドサイズ：16：9を推奨いたします。※4：3でも問題ございません。

参加者へのご案内

1. 参加登録について

(1) Web 開催登録

Web 開催への参加は登録が必要となります。

なお、2021年10月1日（金）～10月7日（木）間、沖縄県での現地開催企画は一切ございませんのでご注意ください。

【Web 開催参加登録流れ】

手順1：本学術集会のHPにお進みいただき、参加登録ページよりお申込みを行ってください。

参加登録学術集会サイト (<https://www.okinawa-congre.co.jp/2021jaon/registration.html>)

手順2：参加費のご入金をお済ませください。

手順3：入金完了後に、Web 開催ページの閲覧が可能となります。

参加登録時に登録したメールアドレスログイン後、視聴を行ってください。

ログインID：参加登録時にお申込みいただいたメールアドレス

パスワード：参加登録時にご自身で設定いただいたパスワード

(2) 参加登録費

参加区分参加費

参加区分	参加費
会員（正会員 / 施設会員）	6,000 円
非会員	10,000 円
学生（大学生、専門学校生）	1,000 円

銀行振込：2021年4月7日（水）～2021年9月28日（火）12:00まで

カード決済：2021年9月9日（木）～2021年10月7日（木）12:00まで

※大学院生、学部学生の方は証明書（学生証のスクランデータ等）を運営事務局までメール（2021jaon@okicongre.jp）にてお送りください。

※支払い方法は、クレジットカード決済、銀行振込となりますのでご注意ください。

(3) ログインID およびパスワードについて

ご登録した「ログインID」と「パスワード」は、登録者ご本人にて管理をお願いします。

機密保持のため「パスワード」においては、セキュリティー上お答えできませんので、ご了承ください。

2. LIVE 配信プログラム

10月3日（日）のみ、LIVE 配信プログラムがございます。

後日オンデマンド（録画）配信はございませんので、ぜひリアルタイムでご視聴ください。

10月3日（日） 会場名	9		10		11		12		13	
	30	00	30	00	30	00	30	00	30	00
LIVE会場		LIVE 会場 開場	10:00～ 総会					LIVE 会場 開場	12:00～ 共催セミナー1 共催：ノバルティスファーマー株式会社	

3. その他

(1) プログラム抄録集

本大会のプログラム抄録集の印刷配布はございません。

Web 開催ページ内のみに掲載いたします。

(2) 関連開催

総会 2021年10月3日(日) 10:00～10:15

(3) 共催セミナー

Live 配信または、オンデマンド配信にて開催いたしますので、是非ご視聴ください。

Live 配信 共催セミナー1 2021年10月3日(日) 12:00～13:00

共催：ノバルティスファーマ株式会社

座長：比嘉 明 (比嘉眼科)

眼科手術の安全性について 現在から未来へ

「日帰り全身麻酔下眼科手術の安全性 –術中と術直後の観察ポイント–」

垣花 学 (琉球大学大学院医学研究科 麻酔科学講座)

「安全な抗 VEGF 薬硝子体内注射」

今永 直也 (琉球大学大学院医学研究科 医学専攻眼科学講座)

オンデマンド配信 共催セミナー2 2021年10月1日(金)～7日(木)

共催：千寿製薬株式会社

ロービジョンをささえる

「沖縄県視覚障害者福祉協会の事業紹介と、果たす役割について」

知花 光英 (社会福祉法人沖縄県視覚障害者福祉協会)

「人生100年時代のデジタルビジョンケア」

三宅 琢 (公益社団法人 NEXT VISION)

オンデマンド配信 共催セミナー3 2021年10月1日(金)～7日(木)

共催：参天製薬株式会社

チーム医療はコツコツと♪～3つのコツ～

「眼科における小児検査のコツ」

比屋根 邦子 (沖縄県立南部医療センター・こども医療センター)

「視機能評価のコツ」

半田 知也 (北里大学 医療衛生学部 リハビリテーション学科視覚機能療法学)

「点眼指導のコツ」

石川 慎一郎 (佐賀大学 医学部 眼科学教室)

プログラム

特別講演 沖縄から地域医療と眼科学への貢献を考える

座長：知念 靖（沖縄県眼科医会）

沖縄から地域医療と眼科学への貢献を考える

古泉 英貴（琉球大学病院眼科）

教育講演 看護研究の進め方・論文の書き方

座長：大音 清香（井上眼科病院）

視機能看護学会に期待する「探究」

粟生田友子（埼玉医科大学 保健医療学部 看護学科）

シンポジウム1 眼科における新型コロナウイルスの現状と対応のあり方

座長：井上 賢治（井上眼科病院）

S1-1 眼科における新型コロナウイルスの現状と病棟対応のあり方

今井 孝幸（眼科三宅病院）

S1-2 一施設の新型コロナウイルス感染対策の実際

高岡 昇（木村眼科内科病院）

S1-3 当院における新型コロナウイルス感染症の現状と対策について

嶋本 圭（井上眼科病院）

S1-4 当院における新型コロナウイルス対策の現状について

肝属千加子（宮田眼科病院）

シンポジウム2 離島での求められる眼科看護

座長：山寄 淳（熊本眼科医院）

S2-1 住み慣れた地元で、笑顔で過ごすために私たちができること

伊良皆美香（琉球大学病院）

S2-2 中北部に位置する離島とちばなクリニックの連携

福島 真理（ちばなクリニック）

S2-3 離島・本島北部地域に対する比嘉眼科の取り組みについて

西平 訓子（比嘉眼科）

S2-4 石垣島、宮良眼科医院の医療、看護の現状

宮良 智美（宮良眼科医院）

スペシャルトーク

1. 分かり易い説明を考えよう！

清水 良則（比嘉眼科）

2. 当院での低濃度笑気ガス麻酔の使用経験について

安里 良（安里眼科 おもろまち駅前院）

一般口演1 感染対策・スタッフ教育・業務改善

- 1-1 ラダーチェック表を活用した眼科専門病院における手術室教育の取り組み
岡崎代司子（神戸アイセンター病院）
- 1-2 器械出し業務の向上への取り組み
上平ひかる（西葛西・井上眼科病院）
- 1-3 多様な働き方を実現する業務改善への取り組み
岩本 安代（宮崎中央眼科病院）
- 1-4 病棟・外来間での情報共有～アナムネ用紙と退院時の申し送り方法の見直しを行って～
鹿野 佑子（今泉眼科病院）

一般口演2 患者指導・周術期

- 2-1 小児眼科手術におけるプレパレーションの取り組み
米谷 昇子（杏林大学医学部付属病院）
- 2-2 白内障手術患者の退院指導に DVD を取り入れた効果
佐藤美和子（いわき市医療センター）
- 2-3 硝子体ガスタンポナーデ術後の体位説明に眼内を可視化した模型を用いた効果
松尾真理子（真生会富山病院）
- 2-4 円背患者における術中体位保持の工夫
志賀 泰穂（眼科三宅病院）
- 2-5 笑気麻酔下の白内障周術期の血圧変動
丸目 郁（宮田眼科病院）
- 2-6 コロナ禍における術前準備説明会の中止への取り組み
瀧川 祐子（永田眼科）

一般口演3 実態調査 I

- 3-1 蛍光眼底造影検査の説明用パンフレット見直し～アンケート調査の結果から考察する～
佐久田啓子（比嘉眼科）
- 3-2 ハンセン病の後遺症がある入所者の緑内障治療薬の点眼アドヒアランスの実態
山上 由美（国立療養所多磨全生園）
- 3-3 外来白内障手術後の自己点眼に関する実態調査 ～点眼手技に焦点をあてて～
小川 弘美（眼科杉田病院）
- 3-4 白内障術後患者の希望焦点と QOL との関連性における実態調査
福元 里佳（林眼科病院）
- 3-5 多焦点眼内レンズ挿入後の日常生活の見え方に関する満足度調査
升本明日香（木村眼科内科病院）

一般口演4 実態調査II

- 4-1 暗所視支援眼鏡による視野狭窄者の有用性について検討
喜屋武寛士（比嘉眼科）
- 4-2 当院における低濃度笑気麻酔使用後のアンケート結果について
伊敷ひとみ（安里眼科）
- 4-3 術前問診とドレープテストによる閉所恐怖症スクリーニングの実態調査
佐野 美穂（東北大学病院）
- 4-4 白内障手術時における笑気吸入鎮静法の有効性の検討
中野 洋子（比嘉眼科）

一般口演5 実態調査III

- 5-1 健康診断・人間ドック後の精密検査における有病率の調査
上和田由美（鹿児島宮田眼科）
- 5-2 時間外診療後、再診しない患者背景の検討
山下 知香（宮田眼科病院）
- 5-3 外来診療の予約対応についての実態調査～予約システム導入を試みて～
渡慶次菜々子（比嘉眼科）
- 5-4 夜間休日における救急患者の電話対応、第2報～電話対応マニュアル作成の取り組み～
柴田 俊子（井上眼科病院）

一般口演6 医療安全・その他

- 6-1 眼科外来における医師の検査指示に関連したエラーに関する研究
白石 幸子（順天堂大学医学部附属順天堂医院看護部）
- 6-2 転倒転落事故防止に向けての取り組み～視覚障害等級表を用いて～
原口 文（大島眼科病院）
- 6-3 白内障手術が高齢者のADLに与える効果～両眼過熟白内障術後、ADL改善が得られた一例～
人見 春美（今泉眼科病院）
- 6-4 当院における眼科外来看護職員の意識と働きがいに関する検討
奥井 佳子（木村眼科内科病院）
- 6-5 眼科専門病院における肝炎プロジェクトへの取り組み
寺本 真紀（出田眼科病院）

共催セミナー1 眼科手術の安全性について 現在から未来へ

座長：比嘉 明（比嘉眼科）

日帰り全身麻酔下眼科手術の安全性 –術中と術直後の観察ポイント–

垣花 学（琉球大学大学院医学研究科 麻酔科学講座）

安全な抗 VEGF 薬硝子体内注射

今永 直也（琉球大学大学院医学研究科 医学専攻眼科学講座）

共催：ノバルティスファーマ株式会社

共催セミナー2 ロービジョンをささえる

沖縄県視覚障害者福祉協会の事業紹介と、果たす役割について

知花 光英（社会福祉法人沖縄県視覚障害者福祉協会）

人生 100 年時代のデジタルビジョンケア

三宅 琢（公益社団法人 NEXT VISION）

共催：千寿製薬株式会社

共催セミナー3 チーム医療はコツコツと♪ ~3つのコツ~

眼科における小児検査のコツ

比屋根邦子（沖縄県立南部医療センター・こども医療センター）

視機能評価のコツ

半田 知也（北里大学 医療衛生学部 リハビリテーション学科視覚機能療法学）

点眼指導のコツ

石川慎一郎（佐賀大学 医学部 眼科学教室）

共催：参天製薬株式会社